

5

広さ、燃費、走りのよさを1台に集約した、ヨーロッパ合理精神の車、シャレード。誕生。



■シャレード誕生。いま、未来への扉を開きます。

ダイハツから、新しい思想にもとづいた車、シャレードの誕生です。シャレードは「未来を謎とした車」。従来の車の概念をすべて、まったくの白紙に立ち戻り、これから車のあるべき姿を求め、実現したニューモデルです。

車には家族が快適にドライブできる広い室内と、余裕ある走りの性能が欲しい。しかし、日本の道路条件や、運転のしやすさを考えれば、ボディはできるだけコンパクトであります。さらに、限りある地球資源や、家計の有効活用を考えると、徹底した低燃費・省資源の車でありたい。しかも、

国際的視野から見ても充分に通用する品質の車であります。シャレードは、こうした課題の一つ一つを解決してきました。つまり、技術に裏づけられた「車の謎とき」。その謎ときの解答が、シャレードなのです。

■シャレードは合理精神の結晶、5m²カー。

シャレードは、その投影面積5.2m²の中に、これから的生活にフィットする使いやすい機能・性能・経済性を集約した「5m²カー」とでもいべきヨーロッパ合理精神の車です。合理精神というと、ケチと同義語のように思われがちです

が、決してそうではありません。経済的であること、それが何であることは、つきつめれば、こころ豊かであります。シャレードは、全身のあらゆる部分にその考えられた車です。

もう、豪華さや、大排気量や、見かけの大きさで車をする時代ではありません。これからは、既成概念にとどまらず、自分のライフスタイルで、モノの本質をしっかりとめていく時代。「5m²カー」シャレードは、そんな時代へダイハツからの新しい提案です。時代を先見し、豊かなルライフをめざす人たちに、自信をもって、いま。

コンパクトボディなのに、ひろびろ室内

ひろびろ5人乗りの室内

外観からでは考えられない室内の広さです。特に後席。前席をスライド量いっぱいまでさげても、背もたれと膝との間にはまだゆとりがあります。また、FF方式ですからフロアに大きなトンネルがなく、足もとはノビノビ。身長175cmの人が前席・後席にゆったり座れる広さ、お考えください。

4ドア+ハッチバックの多彩な

シャレードの魅力のポイントのひとつは、プラス! まいちなドア=ハッチバックです。室内の有効スペースを広げると同時に、シャレードのある生活を楽しく大きく広げます。5人乗り4ドアセダンから、2人乗りワゴンまで、1台で乗りにも使える機能的な車です。

600kg台の軽量コンパクトボディ

充分な室内スペースを確保したうえで、FF横置きエンジン方式の採用によりボディのコンパクト化を図り、前後のオーバーハングを短縮。運転や駐車などが楽々です。車両重量の軽減も図りました。燃費の点でも、俊敏な走りを生むためにも有利なコンパクトボディです。